



令和元年9月9日
海上保安庁

東南アジア・アフリカ諸国の海上犯罪対処能力の向上を目指す ～法の支配に基づく海洋秩序維持のための研修を開催します～

海上保安庁は、東南アジア・アフリカ諸国における海賊対策等の海上犯罪対処能力の向上を図るため、9月23日から10月4日まで、マレーシア海上法令執行庁（MMEA※1）及び独立行政法人国際協力機構（JICA）と共催で、各国海上保安機関の現場指揮官クラスを対象とした「国際上級阻止・立入検査コース（IAIBIC2019※2）」をMMEA 研修訓練センター（AMSAS※3）において実施します。

※1 MMEAとは Malaysian Maritime Enforcement Agency の略

※2 IAIBICとは International Advanced Interdiction & Boarding Inspection Courseの略

※3 AMSASとは Sultan Ahmad Shah Maritime Academy の略

海賊をはじめとする海の安全を脅かす脅威に対して、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序を実現することは、地域の平和、安定及び繁栄を支える上で不可欠なものです。

海上保安庁では、東南アジア・アフリカ諸国の海上法執行機関の能力向上支援を行うためMMEAの講師と共に、AMSASにおいて海上犯罪対処能力の向上を目指した研修を実施します。

1 日程

令和元年9月23日（月）～10月4日（金）

2 予定参加国（12か国、24名程度）

アジア：カンボジア、インドネシア、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、タイ、ベトナム
アフリカ：コートジボワール、ジブチ、ガーナ、ケニア、セーシェル

3 研修場所

AMSAS（マレーシア、クアantan）

4 主な研修カリキュラム

- （1）海賊対策に関する講義
- （2）立入検査手法に関する講義・実技

(3) 制圧訓練

この研修では、

- ・MMEA 講師による立入検査手法及び制圧訓練の指導
- ・海上保安庁講師による海賊対策に関する講義
- ・海上保安庁モバイルコーポレーションチーム※による立入検査手法に関する講義や指導、MMEA 講師に対する指導能力向上のための支援を実施します。

※海上保安庁モバイルコーポレーションチーム(MCT)

平成29年10月に発足した、海上保安国際協力推進官を責任者とする能力向上支援の専従部門。現在10名体制。支援対象機関の職員と共に、必要な支援内容を協議する等、信頼関係を構築しながら支援対象機関の要望にきめ細かく対応し、より一貫性・継続性のある能力向上支援を実施することで、相互の能力向上を図っている。

5

(1) 開講式

日 時: 令和元年9月23日(月)現地時間午前10時から午前11時まで

場 所: マレーシア・クアantan AMSAS

(2) 閉講式

日 時: 令和元年10月3日(木)現地時間午後8時から午後10時まで

場 所: マレーシア・クアantan ゼニスホテル

6 2017年の研修状況



開講式



閉講式での集合写真